

高知市における「中学生向け独占禁止法教室」の開催について

平成 29 年 2 月 2 日
公正取引委員会事務総局
四 国 支 所

公正取引委員会は、将来を担う中学生に対し、早い段階で独占禁止法の役割を理解してもらうために、平成 14 年度から、全国各地の中学校において、当委員会の職員による「中学生向けの独占禁止法教室」（出前授業）を開催してきています（別紙参照）。

このたび、公正取引委員会では、その一環として、同教室を下記のとおり開催することとしました。

記

- 1 日時等 平成 29 年 2 月 14 日（火）
 1 時限目 8：50～ 9：40
 2 時限目 9：50～10：40
 3 時限目 10：50～11：40
 4 時限目 11：50～12：40
 5 時限目 13：25～14：15
- 2 場 所 土佐女子中学校
 高知市追手筋 2－3－1
- 3 講 師 公正取引委員会事務総局四国支所職員
- 4 対象者 土佐女子中学校第 3 学年生徒（5 クラス）
- 5 内 容 シミュレーションゲームで学ぶ市場経済の仕組み、立入検査
 の紹介等

※ 今回の独占禁止法教室について、取材を御希望される場合には、事前に、次の問い合わせ先に御照会ください。

問い合わせ先	公正取引委員会事務総局四国支所総務課
	電話 087-834-1441（直通） 善本，森
ホームページ	http://www.jftc.go.jp/regional_office/shikoku/

独占禁止法教室（出前授業）の御案内

公正取引委員会では、実務経験を積んだ公正取引委員会の職員を中学校の授業に講師として派遣して、独占禁止法の役割や市場経済の仕組み、競争の重要性等について、分かりやすく説明する「独占禁止法教室」（出前授業）を開催しています。

独占禁止法教室の授業内容は、生徒が企業経営者の立場になってライバル企業と競争する中で、競争の必要性や競争をやめてしまうとどのような悪影響が引き起こされてしまうのかといったことや、生徒が消費者の立場になって企業同士が競争することにより消費者にどのようなメリットがあるのかを学ぶシミュレーションゲーム（カードゲーム）や身近な事例などを用いて分かりやすく説明していきます。

授業内容（例）

① キーワードを学習

「独占禁止法」、「市場経済」、「競争」等のキーワードを示して、授業における理解目標を認識し、独占禁止法の概要、市場経済の仕組み、競争の必要性等を総合的に理解します。



② シミュレーションゲーム

グループに分かれてスマートフォン販売店を作り、販売価格やサービスを考える中で、自由に競争した場合と競争しなかった場合とではどのような違いがあるのかというシミュレーションゲームを通して、競争の必要性、競争による消費者のメリットを理解します。



③ 身近な事例紹介

身近な商品について、「カルテル」などの独占禁止法違反事例を紹介し、日常生活との結び付きを実感し、問題意識を高めます。



④ 立入検査・事情聴取の紹介

独占禁止法違反のおそれのある企業に対して公正取引委員会が行う立入検査や事情聴取を紹介し、公正取引委員会の活動やその意味を理解します。

